

## 2022年春にケミカルリサイクルテクニカルセンターを開設

世界が求めるプラスチック資源循環型システムの早期実現に向けて2022年4月にケミカルリサイクルテクニカルセンターを開設します。

今や地球規模の環境課題となっている廃棄プラスチック（廃プラ）処理について、当社はプラスチックの総合機械メーカーという立場から廃プラをリサイクルするための装置開発を進め、その資源価値の向上に取り組めます。

国内において実施されている廃プラのリサイクルには、大別して以下3つの方法があります。

- (1) マテリアルリサイクル
  - ・廃プラを原料として直接プラスチック製品（衣料品等）に再生する
- (2) ケミカルリサイクル
  - ・廃プラを化学的に分解し、化学原料（モノマー、ガス、油等）に再生する
- (3) サーマルリサイクル
  - ・廃プラを固形燃料にするほか、焼却して熱エネルギーを回収する

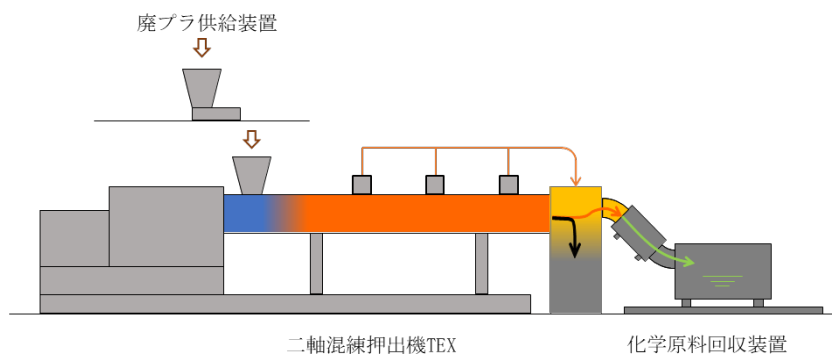
上記3方法のうち、その多くを海外への輸出に頼っていたマテリアルリサイクルは2017年末以降の受入国の段階的輸入禁止措置により国内でのリサイクル処理増加を余儀なくされ、化石燃料を使用するサーマルリサイクルはCO<sub>2</sub>削減には逆行することから、今後は現状最も実施割合の低いケミカルリサイクルの拡大余地が大きいと見込まれています。

当社は1990年代から二軸混練押出機を利用したプラスチックのケミカルリサイクルに取り組んで参りましたが、今後の対応可能なプラスチックの範囲の拡大と顧客に対するタイムリーかつ適切な技術サポートを提供する目的で、2022年4月に広島製作所に設置されている世界最大規模の二軸混練押出機技術開発センターの分室という位置づけでケミカルリサイクルテクニカルセンターを開設します。

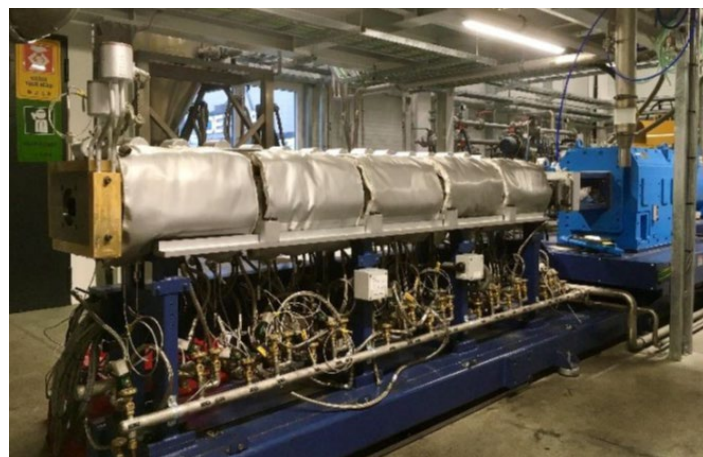
このケミカルリサイクルテクニカルセンターには、当社の二軸混練押出機 TEX と必要な周辺機器を設置し、原料メーカーや製品メーカーとのケミカルリサイクル技術の開発とプラント設計に必要なデータの収集を行います。



広島技術開発センター



ケミカルリサイクルテクニカルセンター装置イメージ



ケミカルリサイクル用二軸混練押出機 TEX44 α III

【問い合わせ先】 株式会社日本製鋼所 経営企画室広報グループ TEL : 03-5745-2012